

宍粟市成年後見制度利用促進基本計画進捗状況

No	取り組み	取り組み内容
1	成年後見制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●市民や関係機関に対し、成年後見制度の趣旨や利用方法について周知・啓発を行い、制度を必要とする人が早期に相談につながる環境づくりを進めた。 ●高齢者や障がい者、その家族が抱える将来不安に対し、成年後見制度を含めた支援制度の説明を行い、本人の状況に応じた利用支援を行った。 ●親族等による申立てが困難な場合には、市長申立てを実施し、制度利用が途切れることのないよう支援した。
2	地域連携根とワークの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ●中核機関及び協議会を中心に、医療・福祉・司法・行政等の関係機関が参画する地域連携ネットワークを構築し、定期的な情報共有と意見交換を行った。 ●支援が必要な人を早期に把握するため、相談支援体制の充実を図り、日常的な相談から権利擁護支援へと円滑につなげた。 ●複合的な課題を抱える事案については、関係機関が連携して支援内容を検討し、本人の生活全体を見据えた支援方針の整理を行った。 ●成年後見制度の利用に限らず、必要に応じて他制度やサービスと組み合わせた支援を検討する体制づくりを進めた。
3	担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人養成講座を実施し、地域住民が権利擁護・地域福祉の担い手として活動できるよう人材育成に取り組んだ。 ●市民後見人が活動開始後も安心して後見業務を行えるよう、中核機関や専門職による相談・助言体制を整えている。 ●若年者で後見活動が長期に及ぶケースや、本人の障害特性等により安定した支援が必要な場合には、法人後見を活用している。 ●後見人等の負担軽減や活動継続につながるよう、後見活動支援の在り方について検討を行い、支援体制の充実を図っている。